

17 着衣着火

【関連章第6章3】

事例1 「線香の火が着衣に接触し、負傷者が発生した火災」

出火時分 3月 10時ごろ

用途等 寺院

被害状況 着衣若干焼損 負傷者1人

概要

この火災は、寺院の境内で発生したものです。

出火原因は、墓参りに来ていた行為者が左手で杖をつき、右手で火のついた線香の束を持って境内を歩行中に線香の火が着衣に着火し、出火したものです。

行為者は火のついた線香の束を持って境内を歩行中、腰のあたりに熱感を覚えたため、一緒にいた家族に「背中が温かい。」と伝えたところ、家族が行為者の持っている線香が着ていたコートに接触し燃えているのを発見しました。

火災を発見した家族が着ていたコートを脱がせて、地面に投げて足で踏み付け、他の墓参り客が持っていた水の入った手桶内の水をひしゃくを使ってかけて、初期消火しました。

通報は、初期消火に成功した家族が寺の事務所に駆け付け、状況を聞いた住職が寺院の固定電話から119番通報しました。

教訓等

この火災は、火のついた線香の束が身に着けていた着衣に接触して、火災になっています。裸火を使用する際は火災につながる危険性があることを念頭に置き、取扱いには十分注意を払いましょう。

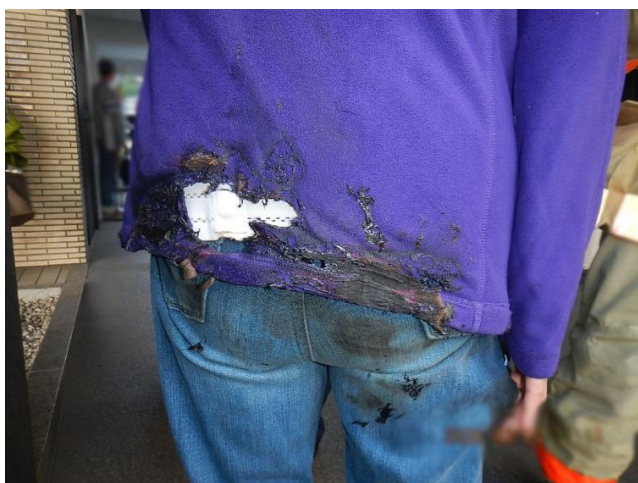


写真 17-1 焼損した着衣の状況



写真 17-2 焼損した着衣の状況